

京都における日本画新人賞「京都 日本画新展 2022」実施決定！

2021年9月30日

「京都 日本画新展」運営委員会

2008年度より、日本画を志す、創造性あふれた若い人材の活動を奨励し、京都の文化の発展に寄与することをめざし、日本画新人賞「京都 日本画新展」を開催しています。2013年度からは「続『京都 日本画新展』」、2018年度からは、京都府、京都市、京都商工会議所の共催、また新たな推薦委員と選考委員を迎えた「京都 日本画新展 2019」、「同 2020」、「同 2021」を実施してまいりました。

今年度も京都の文化振興の取り組みの一つとして、また多くの皆様に日本画文化をお伝えする場として、「京都 日本画新展 2022」と称し開催いたします。

1. 名称

「京都 日本画新展 2022」

2. 趣旨

京都における日本画は、「京都画壇」として多くの人材を輩出し、今日に至っています。また、日本画の世界を通じて育った人材は、京都に伝来する美術、工芸、産業振興に広く深くかかわり、その基礎的部分を形成しています。

「京都 日本画新展」、そして「続『京都 日本画新展』」を通して、日本画を志す若手作家たちが、生き生きと日本画を描くことを応援し、その活躍の場のひとつを提供してまいりました。

2018年度から、京都府、京都市、京都商工会議所が共催となり、「京都全体で本展に取り組む」ことをめざし「京都 日本画新展 2019」、翌年以降は「同 2020」「同 2021」を実施しました。推薦委員には芸術大学の先生方を起用し、より幅広い、多様な出品者を募り、新たな選考委員を迎え、多角的な視野から作品選考を行いました。今年度も昨年度同様に京都府、京都市、京都商工会議所の共催で「京都 日本画新展 2022」を実施いたします。

伝統と文化、そして大学の街・京都の特性を最大限に生かし、引き続き、日本画を志す若手作家とともに、京都ならではの日本画展をめざします。

3. 主催

JR西日本、京都新聞

4. 共催

京都府、京都市、京都商工会議所

5. 協力

文化庁 地域文化創生本部

6. 後援

京都府教育委員会、京都市教育委員会、KBS 京都、エフエム京都

7. 実施概要

別紙

8. 今後のスケジュール

- ・2021年11月 作品締め切り、大賞等決定
- ・2022年2月11日～2月20日 美術館「えき」KYOTOにて作品展を開催



「京都 日本画新展 2021」

石橋 志郎『Tone』

【お問合せ先】 西日本旅客鉄道株式会社
京都交流推進委員会 TEL 075-682-8170

「京都 日本画新展 2022」実施概要

1. 運営体制

- ・ 推薦委員 (50 音順、敬称略)
 - 石股 昭 (奈良芸術短期大学教授)
 - 雲丹亀利彦 (京都精華大学教授)
 - 大沼 憲昭 (嵯峨美術大学教授)
 - 川嶋 渉 (京都市立芸術大学教授)
 - 菅原 健彦 (京都芸術大学教授)
 - 西久松吉雄 (成安造形大学名誉教授)
 - 村居 正之 (大阪芸術大学教授)
- ・ 選考委員 (50 音順、敬称略)
 - 太田垣 實 (美術評論家)
 - 國賀由美子 (大谷大学文学部教授)
 - 野地耕一郎 (泉屋博古館東京館長)
 - 畑 智子 (京都文化博物館特任学芸員)
 - 森口 邦彦 (友禅作家、重要無形文化財保持者)
 - 山田 諭 (美術史家)

2. 実施フロー

- ・ 原則として、京都を中心に活動している、あるいは京都にかかわりの深い概ね 25 歳から 45 歳の日本画家を対象に、推薦委員が出品依頼候補者を選出し、本人の参加意思を確認の上で出品していただきます。
 - 「京都 日本画新展」出品作品数
 - …第 1 回 37 名、第 2 回 38 名、第 3 回 37 名、第 4 回 37 名、第 5 回 38 名
 - 「続『京都 日本画新展』」出品作品数
 - …第 1 回 39 名、第 2 回 38 名、第 3 回 38 名、第 4 回 38 名、第 5 回 39 名
 - 「京都 日本画新展」
 - …2019 40 名、2020 40 名、2021 39 名
- ・ 出品作品の中から大賞 1 点 (賞杯と賞金)、優秀賞 1～2 点程度 (賞杯と賞金)、京都府知事賞、京都市長賞、京都商工会議所会頭賞 (賞状) を選考委員が選出します。
- ・ 作品は美術館「えき」KYOTO での作品展での展示のほか、J R 西日本の媒体、京都新聞紙上等で紹介します。

3. <出品規定>

a.未発表の新作に限る

b.形状

- ・平面作品に限る
- ・額装、軸装、屏風装（屏風装の場合二曲一隻のみ可）のいずれかとする（分割画面は不可）
- ・額装の場合、額縁幅は片側 70 mm以内、軸装は壁面に掛けられるものとする
- ・ガラス、アクリル板は装着不可
- ・パネルのみは不可（作品保護のため、必ず額装（仮縁可））
- ・作品を横から見て、画面が額縁より出ないこと
- ・危険防止のため、重量は壁面展示可能な作品であること

c.作品の大きさ

80号M（1455 mm× 894 mm）以上から 100号S（1620 mm×1620 mm）程度
厚みは 100 mm以内（額装を含む）

d.その他

- ・落款（署名および印）は審査の都合上、入れないこと

※作品の形状など規定を満たし、必要な処置の上、出品すること。展示会場内での乾燥等による形状変化は自己責任とする

4. 作品の発表

作品の発表機会の提供を本賞の特徴とします。

【「京都 日本画新展 2022」の概要】

（1）美術館「えき」KYOTOでの作品展

J R 京都駅ビル内の美術館「えき」KYOTO で作品展を開催します。

会期：2022年2月11日～2月20日

午前10時～午後7時30分

- ・作品展には推薦委員にもご出品いただきます
- ・会期、時間は変更になる可能性があります

（2）J R 西日本発行物での作品紹介

作品をJ R 西日本発行のパンフレットなどで紹介します。

（3）京都新聞紙上での作品紹介

受賞作品を中心に京都新聞の特集紙面で紹介します。